

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [市立札幌大通高等学校] 担当教諭名 [天野 由美香] (1-4年次 42名)

相手国・地域 [アメリカ]

海外学校名 [Scales Mound Junior High school] 担当教諭名 [Karen Kelly]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	外国語	異文化理解	28

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SDGs
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	SDGsの目標達成に向けた理想的な社会とは



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
1年間、異文化理解の授業で学んだことを、SDGsを通して考えを深め、まとめることができた点。 SDGsは世界共通の目標であるため、同じゴールを見据えながら、互いの考えを共有出来た点。	互いの授業の進度などの都合により、やりとりに時間を要し、交流を通して互いの意見を深めるところまで至らなかった。また、Skype が実現しなかったため生徒にとっては相手があまり見えない中での展開となってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
これまで異文化理解の授業で学んだ、世界の諸問題、課題について、どのような解決策があるか、私たちにできることは何か、ということについて、壁画の元となるイメージ画を作成することを通して、自分ごととして捉え、グローバルな視点で考えることができた。	国が違っても、世界の諸問題を考えるとき、SDGsが「共通言語」となり得ることがわかった。同じ目標を見て互いの意見を交換できたことは大きな学びであった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	自己紹介及び学校、札幌紹介をビデオレターの形式で送付。	相手を意識して質問を織り交ぜながらスピーチした。	異文化理解
共有 テーマ学習	10月 11月	SDGsの中で関心のある目標は何か、また、それに関わる日本での課題をまとめた。さらに日本における問題について、交流国の現状を聞く質問を英語で考えた。	生徒一人一人が自分の興味関心に沿ってSDGsを深く学んだ。	異文化理解
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月 12月	生徒一人一人が、達成したいSDGsの目標を絵に表した。そして、枠のデザインする人、個々の絵をデザインとしてまとめる人、配色を考える人と役割を分け、デザインをまとめた。	自分の思い描く理想をどう絵に表現したらよいか、模索しながら下絵作成を行っていた。	異文化理解
創造 壁画制作	12月	異文化理解講座は3クラスあり、作業を分担しながらリレー形式で1枚の作品を仕上げた。	徐々に1枚の絵になっていくことに達成感があったようである。	異文化理解
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	プレゼンテーション大会(3月)に講座で学んだことアートマイルプロジェクトについて報告し、完成した壁画を全校生徒に披露することができた。	学んだことを自分たちのことばかりと表現することができ、1年間の学習がよい学びとして残ったようである。	異文化理解

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	相手に伝えようとすることで、自文化への理解がより深まっていた。
異文化を理解する力	4	相手から届いたメッセージや質問に対する答えを英語を読み自分なりに理解しようとしていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	インターネットを活用し、調べたいことをしっかりとまとめていた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	自分の考えを相手に伝えたいという思いから、クラスメイトと協力しながら、なんとか英訳したり、話そうとしていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	交流校との意見交換が十分にできず、相手の意見(英語)を理解することにとどまった。
主体的に考え行動する力	4	SDGsの目標を達成するためにどのような社会であったらよいか、自ら考えることができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	英訳をしたり、壁画を制作する過程で、個々の得意分野が発揮され、互いに助け合いながら、作業を進めていく姿が見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分の言いたいことを英語で表現したり、自分の考えをSDGsとともにまとめたり、イメージを絵におこしていく作業を通して、身につけることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	壁画が届いたのが授業が終了した後だったため、評価する時間を設けることができなかった。